

環境パフォーマンスの改善

省資源

富士フィルムは“持続可能な発展”を21世紀の地球と人類にとって最も重要な課題と考えています。そのために限りある資源を無駄なく、有効に活用していく

- ・ Reduce (省材料・省エネ・廃棄物の発生抑制)
- ・ Reuse (再使用)
- ・ Recycle (再生利用)

の3Rを積極的に推進しています。

資源投入量の削減

富士フィルムは、生産に必要な資源投入量の削減に力を入れています。

2001年度、製造現場にもたらされた主な物質の投入量は次のようになりました。

主な物質の投入量	
銀(千トン).....	1.0 (0.1%減)
ゼラチン(千トン).....	3.9 (0.4%減)
TAC(千トン).....	11.8 (0.1%減)
アルミ(千トン).....	48.5 (1.0%増)
紙製容器包装材料 [*] (トン).....	8,304 (1.2%減)
プラスチック製容器包装材料 [*] (トン).....	3,637 (5.4%減)

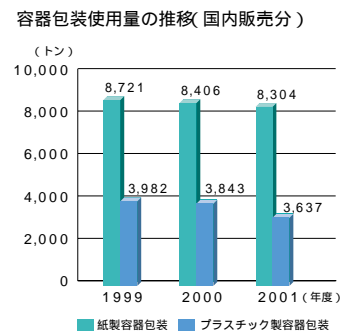
* 容器包装リサイクル法の定義に基づいた値です。 ()内は対2000年度実績

これまで取り組んできた省資源の一例を挙げますと、富士フィルムの主力製品である写真感光材料に使用する銀の量は、ここ20年余りでカラーネガフィルムにおいては半分に、カラーペーパーにおいては約1/3に減らしています。

TACは液晶表示に使われる偏光版などの材料に使用されています。生産工程におけるロス削減はもとより、フィルムの薄層化などによる技術改良によって前年度より100トン削減しました。

製品を保護し、イメージとしても重要な要素のひとつである包装材の削減にも努力しています。2001年度は、

- ・ 各部門の環境負荷削減のための包装設計支援
- ・ 容器包装リサイクル法再商品化委託料集計の迅速化
- ・ 製品別の材質、重量のデータ一覧可能を目的とした「容器包装データベース」を構築し、運用を開始しました。2001年度は対前年度紙製容器包装を102トン、プラスチック製容器包装を206トン削減させました。



グリーン調達 / グリーン購入

材料や機材、物品の調達という経済的な活動の中においても、それにとりまな環境への配慮が必要です。例えば富士フィルムの印画紙は、森林資源保護と地球温暖化防止を目的とし、計画的に伐採・植樹された木材を原料とするチップを100%採用しています。

富士フィルムは「グリーン調達推進委員会」を中心に、積極的にグリーン調達を推進しています。

富士フィルムのグリーン調達基準

富士フィルムでは取引会社の基準については、以下のいずれかを満たすこととしています。

- (1) ISO14001を取得済みか3年以内に所得予定であること。
- (2) 取得予定のない取引先に対しては、環境関連法規が順守されている。

富士フィルムが定める特定の化学物質を取り扱っていない。の2項目が満たされ、かつ、富士フィルムが定めた環境保全・化学物質管理の要求12項目のうち70%以上が満たされていること。

	2001年度目標	実績	前年度比
部品・材料	75%	87%	17%向上
包材	70%	74%	19%向上

2001年度も原材料・包装資材調達先合計390社に環境保全の取り組みを確認する調査を実施しました。結果は左下表に示す通りです。

部品、材料、包材のいずれについても2003年度末までにグリーン調達率100%達成を目指して活動を推進しています。

また、化学物質の調査の精度を上げるため、グリーン調達の共通化に関する他社との協議にも積極的に参加し、「グリーン調達調査共通化ガイドライン」作成を協同して行いました。

グリーン購入

グリーン購入についても、目標の設定、啓蒙パンフレットの作成、情報交換システムの構築などを行い、積極的に取り組んでいます。2001年度のグリーン購入率は87%(目標は70%)と前年より35%アップしました。2003年度にはグリーン購入率100%達成を目指して活動しています。



足柄工場ホームページのグリーン購入検索サイト

グリーン購入率

対象品目の総購入額におけるグリーン商品購入金額の割合。
対象品目：OA用紙・印刷用紙、コピー機・プリンター・ファクシミリ、パソコン、文具・事務用品、一般生活用品